

農業用ドローンで田植え!?

－ 農業用ドローンを使って田植えの実証実験を行います－

燕市の農業法人がメーカーと共同で田植え作業の実証実験を行います。

今、農業の省力化や様々な可能性で注目されているドローン。現在は液体の農薬や肥料の散布のみに使用されており、固形物落下には対応していません。

今回の実験では、固形物である種もみ（コーティング済み）を落下させ、直播による田植え作業の実証実験を行います。

※実験のため予定どおりに進まない可能性もあります。予めご承知置き下さい。

【概要】

- 1.日 時：5月10日（木） 午後2時頃～
- 2.会 場：スポーツランド燕の外周道路に面した西側の水田
- 3.内 容：農業用ドローンを用いて直播による田植え作業
- 4.実施者

【農業者】

株式会社 アグリシップ
（燕市上児ノ木 代表 佐藤宏幸）

【メーカー】

株式会社 スカイマテックス

5.その他

- ・隣接する圃場は、従来機（田植え機）により直播をし、生育状況等の経過比較をして行きます。
- ・燕市では、(株)アグリシップのドローン機導入にあたり支援しています。
（H30 燕市チャレンジファーマー支援事業【規模拡大】による補助第1号で、導入費用の1/4、約70万円を補助[参考：本体価格 税抜き3,200,000円]）
- ・現在、農業用ドローン機の国内メーカーは4社程度、2/3程度のシェアを中国メーカーに占有されている状況。
- ・国内メーカーが製造するドローン機のなかで最大の大きさ。（全幅・全長約2m）新潟県で初めて(株)アグリシップが導入。
- ・ほか5月18日に新潟市地内の圃場で粒剤の薬剤散布の実証を行う予定。



本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 農政課：大関
電話：0256-77-8242（直通）